

キリンビール株式会社 2016年上半期課税数量報告

日頃から大変お世話になっております。本日確定しました当社の上半期のビール・発泡酒・新ジャンル課税数量につき、下記の通りご連絡いたします。

	2016年上半期			2015年上半期	
	KL	千ケース	前年比(%)	KL	千ケース
ビール計	289,744	22,887	-2.2	296,344	23,408
発泡酒計	219,294	17,322	-9.4	242,086	19,122
新ジャンル計	273,593	21,611	-10.2	304,650	24,064
総計	782,631	61,819	-7.2	843,080	66,594

(ご参考：上半期主要ブランド別販売数量)

	2016年上半期 (万ケース)	前年比(%)	2015年上半期 (万ケース)
一番搾りブランド計	1,563	+0.9	1,549
(参考)47都道府県の一番搾り	112	+133.3	48
淡麗ブランド計	1,728	-8.2	1,882
のどごしブランド計	2,006	-8.6	2,194

※ケース=633ml×20本(12.66L)換算

<5社計：上半期課税出荷数量概況>

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、マイナス(-1.5%)
- ◆ ビール計は、プラス(+0.4%)
- ◆ 発泡酒計は、マイナス(-8.8%)
- ◆ 新ジャンル計は、マイナス(-1.0%)

<キリンビール：上半期課税出荷数量概況>

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、マイナス(-7.2%)
- ◆ ビール計は、マイナス(-2.2%)
- ◆ 発泡酒計は、マイナス(-9.4%)
- ◆ 新ジャンル計は、マイナス(-10.2%)

<キリンビール：上半期ブランド別概況> ※ブランド別の対前年比は販売数量。

- 「一番搾り」ブランドは「47都道府県の一番搾り」が寄与し、2年連続のプラス(+0.9%)で、びん・缶ともにプラスと好調に推移。
- 「47都道府県の一番搾り」は、7月12日累月出荷で131万ケースとなり、年間目標の120万ケースを達成、200万ケースに上方修正。8月2日には12県、10月12日に9県・熊本づくり全国販売と続く。
- 「淡麗」ブランドは、「淡麗プラチナダブル」が+3.6%と好調に推移。「淡麗グリーンラベル」も市場を上回って推移したことで、機能系カテゴリーシェアは40%台を堅持。
- 「のどごし〈生〉」ブランドは、昨年投入した大型新商品が一巡したこともあり、マイナス。下半期は「のどごしオールライト」全面リニューアルやキャンペーン等施策を投入し、巻き返しを図る。
- RTD計は、「氷結」や「本搾り」の好調により、対前年+4.6%で着地。「氷結」はスタンダードシリーズがけん引し、二桁増(+10.0%)となった。